

【基本方針】

「居心地がよく、笑顔で過ごすことができる空間を作る」

【年間目標】

- ① 介護事故を防止し、利用者様の ADL の維持向上を図る
- ② 利用者様に常に笑顔で過ごしていただける環境づくりを行う
- ③ 職員の介護技術及び接遇マナーを向上させ、より良い介護を目指す
- ④ スタンダードプリコーションを実施し、デイサービス内での感染症の蔓延を防ぐ
- ⑤ 利用者様の社会的孤立感を軽減し、地域との共生を目指す

【実践報告】

- ① 介護事故を防止し、利用者様の ADL の維持向上を図る
 - ・利用者様の状態について都度確認し、申し送りを行うとともに、スタッフ会議の際に事故報告書・ヒヤリハットの内容を再確認し、事故防止の検討を実施した。しかし、入浴時や帰宅前のトイレ誘導時等、人の動きが多い時や職員人数が少ない時に事故が起こっている。1 人の利用者様の介護に携わりながらも視野を広く持ち、他の利用者様の動きにも注意を払えるようにしていきたい。職員同士で声をかけあい、死角のないようにすることで事故防止に努めていく
 - ・1 月より運動レクリエーションを開始した。個別に運動能力を評価し、適切な運動を行うよう努めている。参加者を増やせるようアナウンスを行うとともに、安全で効果的に実施できるよう検討していきたい。参加しない利用者についても、個別機能訓練やレクリエーション・体操等への積極的な参加を促していく
- ② 利用者様に常に笑顔で過ごしていただける環境づくりを行う
 - ・職員と利用者様との関係性は良好で、職員との会話を楽しみに来られている方も多。馴れ合いにならないよう注意しながら、今後も利用者様に親しみのある雰囲気の中で過ごして頂けるよう努めていく。
 - ・今年度も新型コロナウイルスの影響により外出行事ができなかったが、新しい行事を行ったり、密にならない工夫をしたレクリエーションを行ったりして、利用者様には喜んでいただけた。隙間時間を利用したリズム体操にも力を入れ、レパートリーも増えている。今後も取り組みを継続し、すべての職員ができるようにしていきたい
- ③ 職員の介護技術及び接遇マナーを向上させ、より良い介護を目指す
 - ・日々の申し送りやスタッフ会議にて利用者様の状態を伝え、支援方法を検討することを行っている。注意すべき点については職員同士で声を掛け合い確認しあう習慣もついてきている。また、重介護の利用者様を 2 人で介助し、お互いにやりやすい方法を伝え合うなど、介護技術を高め支援方法を考えることができる職員が増えてきている。すべての職員に意識付けができるよう今後も取り組んでいく
- ④ スタンダードプリコーションを実施し、デイサービス内での感染症の蔓延を防ぐ。
 - ・利用者様・職員双方に対し、手洗い・うがいの励行、マスクの着用、ワクチン接種の推奨、感染症の現状と対策などを常時アナウンスし、定着している。職員・利用者様に感染症の罹患はあったものの、幸いそこからの蔓延はなかった。今後も継続して感染症予防を行っていく

⑤ 利用者様の社会的孤立感を軽減し、地域との共生を目指す

- ・新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、外出機会がなくなり他者交流の機会が減少した方が多数おられた。意欲低下や認知症亢進の予防のためにも、デイサービスを休まず利用し、少しでも他者交流の機会を持つことが必要と考え、準備や送迎の問題に相談に乗ったり、休みの際の振替利用を勧めたりと、積極的に対応を行った。その結果、利用者様やご家族様との信頼関係が強くなったと思われる。今後も臨機応変に対応していく。

【苦情件数】 0 件

【神戸市への事故報告】 1 件

令和4年2月3日 16時40分 デイサービスホール内

帰宅前上着着用介助の際、後方よりの介助により、対象者前方へ転倒する

救急での受入困難であった為、職員付き添いの下整形外来受診。当日一旦帰宅にて

翌日再度別病院へ受診し、紹介により入院となる

左手首及び両膝強度打撲により入院加療

改善策

対象者のADLや当日の健康状態を十分に把握した介助方法を選択する事

必ず声かけを実施し、動作確認や体調確認等を行う事

下肢の筋力低下がある方や理解力に乏しい場合には、着座姿勢での着脱衣を行う事